

*本リリースは1月13日に米国アトランタで発表されたリリースの翻訳です。

2022年1月15日

デルタ航空、2021年第4四半期および通年の業績を発表

- GAAP会計基準では2021年第4四半期の税引前損失は3億9500万ドル、税引前利益率は-4.2%、営業収益合計は95億ドルで1株当たり損失は0.64ドル。
- 調整済み会計基準では2021年第4四半期の税引前利益は1億7000万ドル、税引前利益率は2.0%、営業収益は84億ドルで、希釈後1株当たり0.22ドル。
- GAAP会計基準による2021年通年の税引前利益は3億9800万ドル、営業収益合計は299億ドル。
- 調整済み会計基準による2021年通年の税引前損失は34億ドル、営業収益は267億ドル。

【米国アトランタ、2022年1月13日】 - デルタ航空 (NYSE:DAL) は、2021年12月を期末とする第4四半期と2021年通年の業績、および2022年第1四半期予測を発表しました。GAAP基準および調整済みの結果を含む、デルタ航空の2021年第4四半期および通年の業績を5ページに記載いたします。概要は以下のとおりです。

デルタ航空の最高経営責任者、エド・バスティアン (Ed Bastian) は次のように述べています。「2021年は、デルタ航空にとって特別な年となりました。ブランド力の向上により大きな回復軌道に乗せることができたため、米国の航空会社で唯一、下半期に黒字化を達成しました。こうした成功はデルタ航空の従業員のおかげであり、今朝特対象となる従業員に対する特別なプロフィットシェアリング (利益分配) を発表しました。オミクロン株の急速な拡大によってスタッフの配置にも大きな影響が出ており、旅行業界全体に混乱が生じましたが、デルタ航空の運航は先週から安定し、休暇シーズン前の状況に戻っています。オミクロン株によって需要の回復が60日程度遅れることが予想されていますが、すでにピークアウトの傾向が見られるため、春と夏の旅行シーズンには一般消費者やビジネスユーザーによるリベンジ需要が拡大することを確信しています。」

2021年10月～12月期の業績概要

- 調整済み税引前利益の1億7000万ドルには、主として持分法による損失、評価替えによる投資額調整、特別なプロフィットシェアリングの支払いによる5億6400万ドル分は含まれていません。
- 精油所の売上を除く調整済み営業収益は84億ドルでした。2019年第4四半期に比べて輸送容量は79%、収益は74%まで回復しました。
- 営業経費合計は2019年第4四半期に比べて8億3300万減少しました。サードパーティへの精油所売上分を調整した経費合計は、2019年第4四半期と比べて19億ドル (19%) 減少しました。
- 当四半期中のアメリカン・エクスプレスからの収益は12億ドルで、2019年第4四半期と比べて11%増加しました。
- 第4四半期末時点でのデルタ航空の流動性は142億ドルでした。これには現金および現金同等物、短期投資、リボルビング与信枠残高が含まれます。

2021年通年の業績

- 調整済み税引前損失34億ドルにはPSP (Payroll Support Programs) 関連の38億ドルは含まれておらず、一部は持分法損失、負債償却費用、特別なプロフィットシェアリングの支払いによって相殺されています。
- 2021年下期中の税引前利益は11億ドルでした。PSPを除いた評価替え調整額、持分法損失、負債償却費用を計上した2021年下半期中の調整済み税引前利益は3億8600万ドルでした。

- サードパーティへの精油所の売上を除く2021年通年の調整済み営業収益は267億ドルでした。2019年通年に比べて輸送容量は71%、収益は57%まで回復しました。
- 営業経費合計にはPSP関連の補助金45億ドルが含まれていますが、2019年に比べると124億ドル減少しています。PSP関連の補助金とサードパーティへの精油所の売上に伴う費用分を調整した営業経費合計は、2019年に比べて109億ドル（27%）減少しました。
- 2021年通年のアメリカン・エクスプレスの売上は40億ドルで、2019年通年と比べて98%まで回復しました。
- 業務再開に向けて29億ドルの投資を行い、70億ドルの返済金圧縮を行いました。これには年金保護法（Pension Protection Act）に基づく年金資金の完全な確保も含まれています。
- 2021年末時点におけるデルタ航空の負債とファイナンスリースの債務合計は269億ドルで、調整済みの純負債額は206億ドルでした。

2022年1~3月期の予測値

	2022年第1四半期予測
輸送容量 ¹	83% - 85%
収益合計 ^{1,2}	72% - 76%
燃料価格（\$/ガロン） ^{2,3}	\$2.35 - \$2.50
CASM-Ex ^{1,2,4}	最大15%増加
資本支出合計 ²	最大16億ドル
調整済み純負債 ²	最大220億ドル

¹ 2019年1月~3月期との比較

² 非GAAP指標

³ 燃料価格の予測は1月11日の価格に基づく（ブレントは81ドルでクラックは17ドル、モノロー精油所は1.31ドルのRINSで収益確保）

⁴ 最大3ポイントの業務中断関連費用を含む

収益環境

デルタ航空社長のグレン・ホーエンスタイン（Glen Hauenstein）は次のように述べています。「先月の投資家向け説明会でお伝えした当社の商業的強みが第4四半期の結果に表れています。年末の休暇シーズン中の需要拡大と価格設定、引き続き好調なプレミアムプロダクトにより、収益は2019年に比べて80%まで回復しました。ビジネス需要や国際線需要も明るい兆しが見え、また多様な収入源も引き続き回復しています。オミクロン株による最近の感染者数増加は第1四半期前半の需要回復のスピードに影響を及ぼさそうですが、プレジデント・デー（今年は2月21日）の週末以降は回復の勢いが増すことが予想されます。こうした点を考慮して2022年第1四半期の収益回復率は2019年レベルの72~76%と予想しています。2021年第4四半期の回復率は74%でした。」

2021年第4四半期の調整済み営業収益は84億ドルで、2021年第3四半期に比べて2%増の1億4900万ドル増加しました。調整済み営業収益は2019年第4四半期の74%まで回復しました。12月半ばに更新したシステム輸送容量のガイダンスは2019年同期比で79%でした。

2021年第3四半期と比べて全路線のイールドは7%増加しましたが、全路線のロードファクターが2ポイント低下し78%になりました。その結果、調整済み旅客単位収益合計は引き続き6%増加しました。

収益関連のトピック：

- **休暇シーズン需要増による国内線の売上回復：**国内線の旅客収益は2019年第4四半期の78%のレベルまで回復しました。堅調なレジャー需要、改善傾向にある法人需要や休暇シーズンの予約増により、2021年第3四半期から引き続き6%増加しました。国際線の旅客収益は2019年同期比で50%まで回復し、第3四半期に続き8ポイント増加しました。

- **プレミアムキャビンがメインキャビンより引き続き好調**：国内線や短距離国際線のテનાアメリカ線のプレミアムプロダクトによる収益回復がメインキャビンよりも約 10 ポイント高いペースで進みました。その結果、国内線のプレミアム収益は 2019 年第 4 四半期の 84%まで回復しました。
- **ビジネス需要が引き続き改善**：ビジネス旅行は引き続き増加しており、2021 年第 4 四半期には米国内旅客者数が 60%近くまで回復しました。これには法人顧客と中小企業の利用客が含まれています。
- **アメリカン・エクスプレスからの収益は 2019 年を上回るレベルを達成**：当四半期中のアメリカン・エクスプレスからの売上は 12 億ドルに達しました。2019 年同期比で 11%増加、2021 年第 3 四半期に続き 8 ポイントの増加でした。提携カードの費用は 2019 年同期比で 121%でした。主としてリテール部門での休暇シーズン需要増と 2019 年第 4 四半期を上回る T&E 費用によるものでした。提携カード発行数は 2019 年同期比で 86%まで回復しました。
- **貨物収益は 5 四半期連続で増加**：貨物収益は 3 億 400 万ドルに増加し、2019 年同期比で 63%まで回復しました。また堅調な休暇シーズンの需要とイールドによって第 3 四半期から引き続き 24 ポイント増加しました。

コストパフォーマンス

デルタ航空の最高財務責任者、ダン・ジャンキ (Dan Janki) は次のように述べています。「変化の激しい環境でもデルタ航空は 2021 年第 4 四半期も黒字を維持することができました。オミクロン株による短期的な影響により 1 月と 2 月は損失が予想されますが、3 月は再び収益を確保できる見込みです。第 1 四半期は損失が予想されますが、第 2 四半期以降回復し、2022 年通年としては本格的な収益が期待できます。」

2021 年の調整済み営業経費合計は 292 億ドルでした。給与や福利厚生費用、燃料費用、輸送容量および営業関連費用の減少により 2019 年通年と比べて 27%減少しました。2021 年の燃料費を除く CASM (1 シートマイルあたりのコスト) は 2019 年同期比で 11.4%増加しました。輸送容量は 2019 年同期比で 29%減少しました。

2021 年第 4 四半期の調整済み営業経費合計は 81 億ドルでした。連続して 3%の増加となりましたが、継続的な事業回復に伴い、燃料とそれ以外の費用が増加したためです。

2021 年第 4 四半期の調整済み燃料費は 16 億ドルで、第 3 四半期と比べて 5500 万ドル (4%) 増加しました。1 ガロン当たりの調整済み燃料費は 2.10 ドルで、第 3 四半期と比べて 8%増加しました。これは市場での価格上昇によるもので、継続的な精油所売上と RINs 価格とボリューム規定の改善によって一部が相殺されています。機材刷新の結果、2021 年第 4 四半期中の燃料効率 (1,000 ASM 当たりのガロン数として定義) は、2019 年同期比で 4.3%改善しました。第 4 四半期中のカーボンオフセットによる燃料価格への影響は 3 セントでした。デルタ航空は認証された高品質のオフセットを推進することでカーボンニュートラルな航空会社になるというコミットメントを果たしています。

燃料以外の調整済み費用は 65 億ドルでした。第 3 四半期と比べて輸送容量が 4%減少しましたが、燃料以外の調整済み費用は引き続き 3%増加しました。これは主として人材関連の費用と季節性の費用によるものです。2019 年第 4 四半期との比較では、燃料以外の単位費用 (CASM-Ex) が 8.3%増加しました。このうち 1.2 ポイントはオミクロン株により第 4 四半期の最後の 2 週間に発生した運航の混乱によるものです。

2021 年第 4 四半期の営業外経費は 6 億 5800 万ドルでした。これには持分法損失、特定の投資における評価損と負債償還損失が含まれています。調整済み営業外経費は 1 億 7500 万ドルでした。

バランスシート、キャッシュと流動性

デルタ航空の最高財務責任者、ダン・ジャンキ (Dan Janki) は次のように述べています。「2021 年中はバランスシートが大幅に改善しました。負債総額を 60 億ドル圧縮し、PPA に基づく年金資金の全額確保を達成いたしました。負債額の減少は規政面での最優先課題です。営業キャッシュフローの改善によって 2024 年までにバランスシートを投資グレードの指標に戻したいと考えています。」

2021年第4四半期末の時点で、デルタ航空の負債およびファイナンスリース残高合計は269億ドルでした。調整済みの純負債額は206億ドル、加重平均利率は4.2%でした。

第4四半期中の営業キャッシュフローは5億5500万ドルでした。総額で9億4800万ドルの資本支出を行い、事業に再投資したため、当四半期中のフリーキャッシュフローはマイナス4億4100万ドルでした。

デルタ航空のエアトラフィックライアビリティは2021年第4四半期末時点で64億ドルで第3四半期末とほぼ同等でした。

第4四半期末の流動性は142億ドルでした。これには29億ドルのリボルバー枠残高が含まれています。

第4四半期中のその他のトピック

企業カルチャーと人材

- 従業員の健康と安全を優先しているデルタ航空では、引き続き従業員のワクチン接種率向上に努め、95%以上を達成しました。
- 利用しやすい新型コロナウイルス検査オプションをデルタ航空従業員向けに無料で提供しました。
- 貨物部門が75周年を迎えました。生命維持に必要な移植のための臓器輸送、ワクチンや人を保護するための機器の輸送など、貨物部門はパンデミック中に非常に重要な役割を果たしました。
- LA28との8年間のパートナーシップ契約を締結し、2028年のロサンゼルスオリンピックおよびパラリンピックの最初の創設パートナーとして2028年まで米国チームのスポンサーを務めます。「Team USA」のオフィシャルエアラインとして2022年北京大会、2024年パリ大会、2026年ミラノ/コルティナ大会、2028年ロサンゼルス大会へのオリンピックおよびパラリンピック参加者の移動をサポートします。
- デルタ航空のスピリットを体現した従業員を毎年選び、功績を称える為の「チェアマンズ・クラブ」パーティを開催しました。今年で25回目となるパーティには200名の新たな受賞者が招かれました。

カスタマーエクスペリエンスとロイヤルティ

- 2021年のビジネストラベルニュース誌のエアライン調査で11年連続第1位を獲得し、全カテゴリーで8年連続トップになりました。
- シームレスでタッチレスなチェックインと保安検査のために顔認証機能を拡張し、史上初のTSAプレチェックのエクスプレスロビーと手荷物預かり所をアトランタ国際空港にオープンしました。
- 2021年中に高速なヴィアサットを使ったWi-Fiを300機の航空機に導入しました。これにより、一フライトにつき定額5ドルでお好みのサイトを高速にストリーミングおよび閲覧できるようになりました。
- 大手インタラクティブ・フィットネス・プラットフォームであるペロトン（Peloton）と、機内エンターテインメントシステムで提携し、シートに座ったままでもできるストレッチや運動など、健康関連の専門コンテンツの提供を開始しました。
- パンデミック時代に海外旅行をしやすくするデジタルソリューション、デルタ・フライレディ（Delta FlyReady）の機能を拡張し、渡航先の入国要件を検索し、必要書類をアップロードできるようにしました。
- デルタスカイマイルプログラムのメダリオン会員に対しては、既存の会員資格を延長し、2年連続ですべてのメダリオン会員資格取得必要マイルを繰り越す措置を取りました。
- グローバル・アップグレード・サーティフィケートを更新し、より多くのお客様がデルタ・プレミアムセレクトをご利用できるようにしました。

環境、社会、およびガバナンス

- 業界唯一の最高責任者レベルであるチーフ・サステナビリティ・オフィサーとして、パム・フレッチャー（Pam Fletcher）を迎え、経営陣を強化すると発表しました。
- The Just 100 による「アメリカで正しいことをしている企業」で運輸企業のトップに選ばれ、グローバルな総合リストでも 38 位を獲得しました。
- 治療費の予測機能を高め、予想外の自己負担を低減する新しいヘルスケアオプションを 2022 年に導入することで、医療の公平性を推進し、従業員からの要望に応えました。
- Groundwater Institute が開催した Racial Equity Leadership Workshops（人種平等リーダーシップワークショップ）に経営陣が参加しました。
- 取引先の多様性への取り組みの一環として、米国初の黒人経営醸造所、Du Nord Social Spirits のウオッカをすべての国内線に搭載しました。また 100%女性のみで製造された Une Femme のワインも一部のフライトに搭載しました。
- 2021 年は、グローバルエアラインとして科学的根拠に基づいた中期目標のや、2050 年までのネットゼロ排出目標など、気候関連の積極的な目標を設定しました。この 2 つはいずれも SBTi フレームワークと国連の Race to Zero に準拠しています。
- 2021 年中に法人顧客および旅行会社と 27 件の SAF 協定を締結しました。2025 年以降毎年 8100 万ガロンの SAF を、Aemetis、Gevo、Neste、NWABF から調達する予定です。

2021 年 10 月～12 月期および通年の業績

第 4 四半期と通年の業績は主として政府からの補助金計上、減損処理、持分法損失、負債償還による損失、投資含み損、特別なプロフィットシェアリングの支払い、サードパーティの精油所売上に関して調整されており、注 A の調整に関する説明で詳しく述べています。

	GAAP		調整済み		GAAP		調整済み	
	2021 年 第 4 四半	2019 年 第 4 四半	2021 年 第 4 四半	2019 年 第 4 四半	2021 年 通年	2019 年 通年	2021 年 通年	2019 年 通年
(株式データを除き単位は百万ドル)								
税引前（損失）／利益	(395)	1,397	170	1,417	398	6,198	(3,415)	6,214
純（損失）／利益	(408)	1,099	143	1,098	280	4,767	(2,598)	4,776
一株当たり（損失）／希釈利益	(0.64)	1.71	0.22	1.70	0.44	7.30	(4.08)	7.32
税引前利益率	(4.2)%	12.2 %	2.0 %	12.4 %	1.3 %	13.2 %	(12.8)%	13.3 %
営業収益	9,470	11,439	8,430	11,384	29,899	47,007	26,670	46,718
有効座席マイル当たりの売上合計（TRASM）（セント）	18.30	17.47	16.29	17.39	15.37	17.07	13.71	16.97
営業経費	9,207	10,040	8,086	9,961	28,013	40,389	29,197	40,082
資本支出	1,217	1,072	948	954	3,247	4,936	2,876	5,306
負債とファイナンスリースの債務合計	26,920	11,160			26,920	11,160		
調整済み純負債			20,581	10,489			20,581	10,489
有効座席マイル当たりのコスト（CASM）（セント）	17.79	15.34	12.56	11.59	14.40	14.67	12.12	10.88
燃料費	1,577	2,012	1,588	1,983	5,633	8,519	5,625	8,477
1 ガロン当たりの平均燃料価格	2.09	2.01	2.10	1.99	2.02	2.02	2.02	2.01
営業外経費	658	2	175	6	1,488	420	888	422
営業キャッシュフロー／フリーキャッシュフロー	555	969	(441)	141	3,264	8,425	1,255	4,164

デルタ航空について

つながることが何よりも重要な現代において、デルタ航空（NYSE: DAL）ほど世界を上手につなげている企業は他にありません。世界中に従業員を擁するデルタ航空は優れた安全性、イノベーション、信頼性、カスタマーエクスペリエンスを誇る世界的な米国の航空会社です。長年の優れた業務と受賞歴のあるカスタマーサービスにより、デルタ航空は J.D. パワー社による 2021 年北米航空会社顧客満足度調査でトップの航空会社選ばれました。

世界中の人と文化をつなぐというミッションの下、デルタ航空は多様性のある世界に対する理解を深めます。二酸化炭素排出量の削減と除去、関係者の参加、連携構築に重点を置くことで、デルタ航空は航空会社として初めてグローバルなカーボンニュートラル達成にコミットしている企業です。デルタの長期的なビジョンはゼロインパクトアビエーションです。これは温室効果ガスの排出、雑音、廃棄物、その他の環境への影響によって、直接的または間接的に環境を破壊することがないような空の旅の実現を意味しています。デルタ航空の従業員はこうした価値観に重視し、安全で信頼性の高い、快適な旅行体験を提供しています。

将来予想に関する記述

弊社の将来的な推定値、期待値、信条、意図、予測、戦略など、歴史的な事実ではないこのプレスリリースにおける記述は、1993 年の証券法とその改定版、1934 年の証券取引法とその改定版、1995 年私募証券訴訟改革法で定義されている「将来予想に関する記述」と見なす必要があります。この種の記述内容は保証されておらず、成果を約束するものではありません。すべての将来予想に関する記述には複数のリスクと不確定要素が関連しており、将来予測に関する記述で反映または示唆された推定値、期待値、信条、意図、予測、目標、願望、コミットメント、戦略と大きく異なる場合があります。実績と将来予想に関する記述の間に相違を発生させる危険性および不確実性には、新型コロナウイルスのパンデミックが弊社事業に及ぼす深刻な悪影響、パンデミックへの対応のための多額の負債、弊社の融資契約における財務その他の条項の違反、弊社または弊社のパートナー企業の航空機が関与する事故によって発生する可能性のある影響、弊社が依存している技術システムのセキュリティ侵害または不備、弊社の情報技術インフラストラクチャの中断、弊社の運営上の技術依存度、他国の航空会社とのビジネス上の関係および当該企業への投資、弊社が依存している第三者の業務上または経営上の深刻な中断による影響、無形資産または長期資産を完全に活用できない状況、労働問題、天候、自然災害、季節性による弊社事業への影響、航空機燃料費と燃料の可用性、モノロートレイナー精油所での大規模な損害賠償に対する保険適用能力の欠如、再生可能燃料標準規制遵守に関連するコストなど、モノロー精油所が既存および将来的な環境規制に違反したことによる影響、弊社の経営陣およびその他主要な社員および企業カルチャーを維持する能力、大規模な非難や中傷のリスクなど企業としての評判やブランドが大きく棄損される行為、テロ攻撃や地域紛争、セキュリティ事象による影響、航空産業における競争状態、弊社が就航している主要空港におけるサービスの長期的な中断または混乱、運用している航空機やエンジンの種類に関連する深刻な問題、弊社事業に対する大幅な行政規制の影響、二酸化炭素排出量規制の強化やその他の気象変動関連のリスクなど、弊社事業に対する環境規制厳格化の影響、弊社が事業を展開している市場の経済状況または政情悪化、外国為替レートの変動がありますが、これらに限定されません。

実績と将来予想に関する記述の間に相違を発生させる、危険性および不確実性に関する追加情報については、2020 年 1 月 1 日～12 月 31 日会計年度の Form 10-K に記載された弊社の年次報告と 2021 年 7～9 月期の四半期報告など、弊社の米国証券取引委員会関連ファイルに記載されています。なお弊社の将来予測に関する記述は本プレスリリース発行日現在の弊社の観点を示すもので、現時点では法律で定められた場合を除き、更新の意図がないため、過度に依存することのないようご注意ください。

デルタ航空
連結損益計算書
(未監査)

(株式データを除き単位は百万ドル)	12月31日 までの3ヶ月間				12月31日 までの1年間			
	2021年	2019年	\$増減	%増減	2021年	2019年	\$増減	%増減
	営業収益：							
旅客	\$ 7,241	\$ 10,245	\$ (3,004)	(29)%	\$ 22,519	\$ 42,277	\$ (19,758)	(47)%
貨物	304	187	117	63%	1,032	753	279	37%
その他	1,925	1,007	918	91%	6,348	3,977	2,371	60%
営業収益合計	9,470	11,439	(1,969)	(17)%	29,899	47,007	(17,108)	(36)%
営業経費：								
給与および関連コスト	2,632	3,046	(414)	(14)%	9,728	11,601	(1,873)	(16)%
航空機用燃料と関連税	1,577	2,012	(435)	(22)%	5,633	8,519	(2,886)	(34)%
付属事業と精油所	1,233	299	934	NM	3,957	1,245	2,712	NM
委託サービス	697	742	(45)	(6)%	2,420	2,942	(522)	(18)%
着陸料およびその他賃料	542	538	4	1%	2,019	2,176	(157)	(7)%
減価償却	504	622	(118)	(19)%	1,998	2,581	(583)	(23)%
地方路線キャリア費用	478	536	(58)	(11)%	1,736	2,158	(422)	(20)%
航空機メンテナンス材料および外部修理	386	417	(31)	(7)%	1,401	1,751	(350)	(20)%
旅客コミッションおよびその他販売経費	313	542	(229)	(42)%	953	2,211	(1,258)	(57)%
旅客サービス	236	325	(89)	(27)%	756	1,312	(556)	(42)%
航空機賃料	118	105	13	12%	430	423	7	2%
再編費用	(16)	—	(16)	NM	(19)	—	(19)	NM
プロフィットシェアリング	108	387	(279)	(72)%	108	1,643	(1,535)	(93)%
政府からの補助金計上	—	—	—	NM	(4,512)	—	(4,512)	NM
その他	399	469	(70)	(15)%	1,405	1,827	(422)	(23)%
営業経費合計	9,207	10,040	(833)	(8)%	28,013	40,389	(12,376)	(31)%
営業利益	263	1,399	(1,136)	(81)%	1,886	6,618	(4,732)	(72)%
営業外経費：								
支払い利子、正味	(265)	(72)	(193)	NM	(1,279)	(301)	(978)	NM
減損処理および持分法（損失）／利益	(232)	18	(250)	NM	(337)	(62)	(275)	NM
投資による利益／（損失）、正味	(197)	136	(333)	NM	56	119	(63)	(53)%
負債償還による損失	(54)	—	(54)	NM	(319)	—	(319)	NM
雑勘定、正味	90	(84)	174	NM	391	(176)	567	NM
営業外経費合計、正味	(658)	(2)	(656)	NM	(1,488)	(420)	(1,068)	NM
(損失)／所得税引前利益	(395)	1,397	(1,792)	NM	398	6,198	(5,800)	(94)%
所得税引当	(13)	(298)	285	(96)%	(118)	(1,431)	1,313	(92)%
純（損失）／利益	(408)	1,099	(1,507)	NM	\$ 280	\$ 4,767	\$ (4,487)	(94)%
一株当たり基本（損失）／利益	\$ (0.64)	\$ 1.71			\$ 0.44	\$ 7.32		
一株当たり希釈（損失）／利益	\$ (0.64)	\$ 1.71			\$ 0.44	\$ 7.30		
株式発行高基本加重平均	637	642			636	651		
株式発行高希釈加重平均	637	644			641	653		

デルタ航空
旅客収益
(未監査)

(単位：百万)	12月31日 までの3ヶ月間				12月31日 までの1年間			
	2021年	2019年	\$増減	%増減	2021年	2019年	\$増減	%増減
チケット-メイン	\$ 3,687	\$ 5,238	\$ (1,551)	(30)%	\$ 11,626	\$ 21,919	\$ (10,293)	(47)%
チケット-ビジネス	2,585	3,684	(1,099)	(30)%	7,713	14,989	(7,276)	(49)%
ロイヤルティラベ	573	726	(153)	(21)%	1,786	2,900	(1,114)	(38)%
旅行関連サービス	396	597	(201)	(34)%	1,394	2,469	(1,075)	(44)%
旅客収益合計	\$ 7,241	\$ 10,245	\$ (3,004)	(29)%	\$ 22,519	\$ 42,277	\$ (19,758)	(47)%

デルタ航空
その他収益
(未監査)

(単位：百万)	12月31日 までの3ヶ月間				12月31日 までの1年間			
	2021年	2019年	\$増減	%増減	2021年	2019年	\$増減	%増減
精油所	\$ 1,040	\$ 2	\$ 1,038	NM	\$ 3,229	\$ 97	\$ 3,132	NM
ロイヤルティプロ	510	519	(9)	(2)%	1,770	1,962	(192)	(10)%
付属事業	207	305	(98)	(32)%	793	1,200	(407)	(34)%
雑勘定	168	181	(13)	(7)%	556	718	(162)	(23)%
その他収益合計	\$ 1,925	\$ 1,007	\$ 918	91%	\$ 6,348	\$ 3,977	\$ 2,371	60%

デルタ航空
収益合計
(未監査)

収益	2021年	増(減)			
		2021年第4四半期と2019年第4四半期の比較			
		増減	単位収益	イールド	輸送容量
米国内線	\$ 5,951	(22)%	(13)%	(9)%	(10)%
大西洋路線	617	(53)%	(20)%	—%	(42)%
中南米路線	560	(20)%	(13)%	(3)%	(8)%
太平洋路線	113	(81)%	(37)%	61%	(69)%
旅客合計	\$ 7,241	(29)%	(11)%	(2)%	(21)%
貨物収益	304	63%			
その他収益	1,925	91%			
収益合計	\$ 9,470	(17)%	5%		
サードパーティへの精油所売上	(1,040)				
収益合計、調整済み	\$ 8,430	(26)%	(6)%		

デルタ航空
統計サマリー
(未監査)

	12月31日			12月31日		
	までの3ヶ月間			までの1年間		
	2021年	2019年	増減	2021年	2019年	増減
旅客マイル売上 (百万)	40,402	56,028	(28) %	134,692	237,680	(43) %
有効座席マイル (百万)	51,744	65,468	(21) %	194,474	275,379	(29) %
旅客マイル利回り (セント)	17.92	18.29	(2) %	16.72	17.79	(6) %
有効座席マイル当たりの旅客売上 (セント)	13.99	15.65	(11) %	11.58	15.35	(25) %
有効座席マイル当たりの売上合計 (セント)	18.30	17.47	5 %	15.37	17.07	(10) %
調整済み TRASM - 注 A 参照 (セント)	16.29	17.39	(6) %	13.71	16.97	(19) %
有効座席マイル当たりのコスト (セント)	17.79	15.34	16 %	14.40	14.67	(2) %
CASM-Ex - 注 A 参照 (セント)	12.56	11.59	8 %	12.12	10.88	11 %
搭乗率	78 %	86 %	(8) pts	69 %	86 %	(17) pts
消費燃料 (百万ガロン)	755	999	(24) %	2,778	4,214	(34) %
1 ガロン当たりの平均燃料価格	\$ 2.09	\$ 2.01	4 %	\$ 2.02	\$ 2.02	— %
燃料 1 ガロン当たり平均価格、調整済み - 注 A 参照	\$ 2.10	\$ 1.99	6 %	\$ 2.02	\$ 2.01	— %

デルタ航空
連結キャッシュフロー計算書
(未監査)

(単位：百万ドル)	12月31日 までの3ヶ月間	
	2021年	2019年
営業活動によるキャッシュフロー：		
純（損失）／利益	\$ (408)	\$ 1,099
減価償却	504	622
エアートラフィックライアビリティの変更分	(18)	(647)
バランスシートその他の変更、正味	477	(105)
営業活動によるキャッシュフロー、正味	555	969
投資活動によるキャッシュフロー：		
不動産と機材の追加：		
前払い金を含む航空機材	(635)	(570)
不動産および技術を含む装置	(583)	(502)
短期投資の購入	(1,856)	—
短期投資の償還	2,878	—
その他、正味	(283)	293
投資活動に使用したキャッシュフロー、正味	(479)	(779)
財務活動によるキャッシュフロー：		
負債とファイナンスリースの債務返済	(1,148)	(516)
普通株の買戻し	—	(225)
長期債務による収益	—	1,557
配当金	—	(259)
給油カード債務	—	297
その他、正味	(19)	(12)
財務活動によって得た（使用した）キャッシュフロー、正味	(1,167)	842
現金と現金同等物、制限付き預金の増加／（減少）、正味	(1,091)	1,032
期首時の現金および現金同等物、制限付き預金	\$ 9,660	\$ 2,698
期末時の現金および現金同等物、制限付き預金	\$ 8,569	\$ 3,730

以下の表は、連結バランスシートに記載した現金、現金同等物、制限付き預金を、上記に記載した各合計金額と照合したものです。

流動資産：			
現金等価額	\$ 7,933	\$ 2,882	
前払い費用その他に含まれている制限付き預金	163	212	
その他の資産：			
空港建設用の制限付き預金	473	636	
現金、現金同等物、および制限付き預金合計	\$ 8,569	\$ 3,730	

デルタ航空
連結バランスシート
(未監査)

(単位：百万ドル)	2021年 12月31日	2020年 12月31日
資産の部		
流動資産：		
現金等価額	\$ 7,933	\$ 8,307
短期投資	3,386	5,789
売掛金、正味	2,404	1,396
燃料インベントリ	694	377
消耗品とサブラインベントリ、正味	404	355
前払い費用とその他の項目	1,119	1,180
流動資産合計	<u>15,940</u>	<u>17,404</u>
不動産と機材、正味：		
不動産と機材、正味	28,749	26,529
その他の資産：		
オペレーティングリースの使用権資産	7,173	5,733
営業権	9,753	9,753
識別可能な無形資産、正味	6,001	6,011
空港建設用の制限付き預金	473	1,556
株式投資	1,712	1,665
繰延所得税、正味	1,370	1,988
その他の固定資産	1,300	1,357
その他の資産合計	<u>27,782</u>	<u>28,063</u>
資産合計	<u>\$ 72,471</u>	<u>\$ 71,996</u>
負債および資本の部		
流動負債：		
負債とファイナンスリース返済	\$ 1,782	\$ 1,732
オペレーティングリースの当期満期分	693	678
エアートラフィックライアビリティ	6,228	4,044
買掛金	4,240	2,840
未払い給与と関連する福利厚生	2,457	2,086
ロイヤルティプログラム繰延収益	2,710	1,777
給油カード債務	1,100	1,100
その他の未払い負債	1,746	1,670
流動負債合計	<u>20,956</u>	<u>15,927</u>
非流動負債：		
負債およびファイナンスリース	25,138	27,425
非流動エアートラフィックライアビリティ	130	500
年金、退職後、および関連する福利厚生	6,364	10,630
ロイヤルティプログラム繰延収益	4,849	5,405
当期満期分以外のオペレーティングリース	7,002	5,713
その他の非流動負債	4,398	4,862
非流動負債合計	<u>47,881</u>	<u>54,535</u>
コミットメントと有事への対応		
自己資本：	3,634	1,534
負債および資本合計	<u>\$ 72,471</u>	<u>\$ 71,996</u>

注 A：GAAP に基づかない財務措置の調整内容を下表に示します。また、デルタ航空がそのような措置を講じる理由について、以下に説明します。丸め処理によって計算結果が一致しないことがあります。

デルタ航空では、「連結財務諸表」から派生する情報（GAAP に基づかない財務措置）を利用する場合がありますが、それは米国で一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）に従って提示されていません。証券取引委員会の規定に基づき、GAAP に基づかない財務措置は、GAAP に従って準備された結果とともに考慮すべきですが、GAAP の結果を置き換えたり、それよりも優れたものとして考えるべきではありません。本書で使用している GAAP に基づかない財務措置を、最も類似する GAAP 財務措置と比較した調整内容を下表に示します。

将来予想：以下を含む調整項目は期末まで不明で多額な場合があるため、デルタ航空では GAAP に基づかない財務措置による将来的な調整を容易に行うことができません。

調整：この種の調整には GAAP 指標に対する新型コロナウイルスの影響と弊社の対応に関連する特定の調整を含んでいます。該当する場合、こうした調整は以下のように対象となる期間の比較を容易にするために行っています。

再編費用：2020 年中は機材の減損処理や新型コロナウイルスパンデミックに伴う戦略的なビジネス上の意思決定による希望早期退職および定年退職といった項目で再編費用を計上しました。再編費用の一部について 2021 年第 4 四半期には 1600 万ドル、2021 年通年としては 1900 万ドルの調整を行いました。その結果、予測値が変化しています。

政府からの補助金計上：給与サポートプログラムの延長による補助金 45 億ドルを 2021 年通年の反対勘定として計上しました。2021 年第 3 四半期末までに給与サポートプログラム延長によるすべての補助金を活用したため、補助金の対象期間に応じて、補助金の一部を反対勘定として計上しました。

減損処理および持分法損失：この調整は持分法による被投資会社が計上した弊社株の損失に関連するものです。

負債の償却による損失：この調整は負債の早期償還に関連するものです。

特別なプロフィットシェアリング：この調整は 2021 年に限定的なものです。パンデミック中の従業員の多大な尽力に感謝し、2021 年下半期の調整済み税引前利益に基づき、2022 年 2 月に対象従業員に対して特別なプロフィットシェアリングを付与いたします。この調整により投資家の皆様が弊社の経常費用のコストパフォーマンスについて理解・分析しやすくなり、主要な経費を航空業界基準と有効に比較できるようになります。

また以下の項目については以下の理由により適宜特定の GAAP 指標を定期的に調整しています。

ヘッジの MTM 調整および支払額：評価替え（「MTM」）調整額とは、決算期以外の期間に記録された評価額の変化を指します。こうした評価額の変化は、必ずしも約定取引期間内の基礎となるヘッジの実際の支払額を示すものではありません。したがってこうした影響を排除することで投資家の皆様が弊社の主要な業績を理解・分析しやすくなります。支払額とは該当する期間中にヘッジ契約に対して受領または支払った現金を指します。

株式投資 MTM 調整：投資家の皆様が当該期間中の弊社の主要な業務実績をより良く理解・分析できるように、持分法による被投資会社であるヴァージンアトランティックのヘッジポートフォリオについて弊社株式投資相当分の MTM 調整を行っています（営業外経費として計上）。

投資の MTM 調整：株式投資による未実現損益の評価額を営業外費用に計上しています。損益は株式の価格、外国為替の変動、株式未公開の企業についてはその他の評価方法によっても変動します。投資家の皆様が弊社の主要な業務実績をより良く理解・分析できるように、この種の利益／損失調整を行っています。

サードパーティへの精油所売上：サードパーティへの精油所売上と関連費用は航空セグメントとは無関係です。したがってこうした売上を除くことは、デルタ航空の航空事業による売上を航空業界の他社と比較する上で有意義なものになります。

航空機用燃料と関連税：燃料価格の変動性は、前年比の財務実績の比較可能性に影響を及ぼします。燃料費や関連税の調整によって、投資家は燃料以外のコストと前年比の財務実績を理解し、分析することができます。

プロフィットシェアリング：利益分配（プロフィットシェアリング）費用の調整によって、投資家の皆様が弊社の経常費用のコストパフォーマンスについて理解・分析しやすくなり、主要な経費を航空業界基準と有効に比較できるようになります。

Delta Private Jets に関する調整：2020 年 1 月に Delta Private Jets と Wheels Up を統合したため、比較の際は 2019 年の業績から Delta Private Jets の影響を除外しました。

税引前（損失）/利益、純（損失）/利益、および一株当たり（損失）/希釈利益、調整済み：

(株式データを除き単位は百万ドル)	2021年12月31日 までの3ヶ月間			2021年12月31日 までの3ヶ月間
	税引前	所得税	純	一株当たり
	(損失) / 利益		(損失) / 利益	(損失) / 希釈利益
GAAP	\$ (395)	\$ (13)	\$ (408)	\$ (0.64)
以下調整済み：				
再編費用	(16)			
減損処理および持分法損失	232			
負債償還による損失	54			
特別なプロフィットシェアリング	108			
ヘッジのMTM 調整および支払額	(11)			
投資のMTM 調整	197			
GAAPに基づかない	\$ 170	\$ (27)	\$ 143	\$ 0.22

(株式データを除き単位は百万ドル)	2019年12月31日 までの3ヶ月			2019年12月31日 までの3ヶ月
	税引前	所得税	純益	一株当たり
	利益			希釈利益
GAAP	\$ 1,397	\$ (298)	\$ 1,099	\$ 1.71
以下調整済み：				
ヘッジのMTM 調整および支払額	22			
株式投資MTM 調整	(1)			
投資のMTM 調整	(3)			
Delta Private Jetsに関する調整	2			
GAAPに基づかない	\$ 1,417	\$ (319)	\$ 1,098	\$ 1.70

(単位：百万ドル)	2021年12月31日 までの6ヶ月間	
	税引前利益	
GAAP	\$	1,137
以下調整済み：		
再編費用		17
政府からの補助金計上		(1,822)
減損処理および持分法損失		281
負債償還による損失		237
特別なプロフィットシェアリング		108
ヘッジのMTM 調整および支払額		8
投資のMTM 調整		420
GAAPに基づかない	\$	386

	2021年12月31日			2021年12月31日	
	までの1年間			までの1年間	
	税引前	所得税	純	一株当たり	
(株式データを除き単位は百万ドル)	(損失) / 利益		(損失) / 利益	(損失) / 希釈利益	
GAAP	\$ 398	\$ (118)	\$ 280	\$	0.44
以下調整済み:					
再編費用	(19)				
政府からの補助金計上	(4,512)				
減損処理および持分法損失	337				
負債償還による損失	319				
特別なプロフィットシェアリング	108				
ヘッジのMTM調整および支払額	9				
投資のMTM調整	(56)				
GAAPに基づかない	\$ (3,415)	\$ 817	\$ (2,598)	\$	(4.08)

	2019年12月31日			2019年12月31日	
	までの1年間			までの1年間	
	税引前	所得税	純益	一株当たり	
(株式データを除き単位は百万ドル)	利益			希釈利益	
GAAP	\$ 6,198	\$ (1,431)	\$ 4,767	\$	7.30
以下調整済み:					
ヘッジのMTM調整および支払額	14				
株式投資MTM調整	(14)				
投資のMTM調整	13				
Delta Private Jetsに関する調整	3				
GAAPに基づかない	\$ 6,214	\$ (1,438)	\$ 4,776	\$	7.32

税引前利益率、調整済み：

	12月31日までの3ヶ月間	
	2021年	2019年
税引前利益率	(4.2)%	12.2%
以下調整済み：		
再編費用	(0.2)	—
減損処理および持分法損失	2.5	—
負債償還による損失	0.6	—
特別なプロフィットシェアリング	1.1	—
ヘッジのMTM調整および支払額	(0.1)	0.2
投資のMTM調整	2.1	—
サードパーティへの精油所売上	0.2	0.1
税引前利益率、調整済み	2.0%	12.4%

	12月31日までの1年間	
	2021年	2019年
税引前利益率	1.3%	13.2%
以下調整済み：		
再編費用	(0.1)	—
政府からの補助金計上	(15.1)	—
減損処理および持分法損失	1.1	—
負債償還による損失	1.1	—
特別なプロフィットシェアリング	0.4	—
投資のMTM調整	(0.2)	—
サードパーティへの精油所売上	(1.4)	0.1
税引前利益率、調整済み	(12.8)%	13.3%

調整済み営業収益、および調整済み有効座席マイル当たりの収益合計 (TRASM)

(単位: 百万ドル)	3ヶ月間				2021年 第4四半期と2019年 第4四半期の 比較
	2021年10月1日~12月31日	2021年7月1日~9月30日	2019年10月1日~12月31日	2019年1月1日~3月31日	
営業収益	\$ 9,470	\$ 9,154	\$ 11,439	\$ 10,472	
以下調整済み:					
サードパーティへの精油所売上	(1,040)	(872)	(2)	(48)	
Delta Private Jets に関する調整	—	—	(53)	(43)	
調整済み営業収益	\$ 8,430	\$ 8,281	\$ 11,384	\$ 10,381	(26)%

(単位: 百万ドル)	1年間		増減
	2021年1月1日~12月31日	2019年1月1日~12月31日	
営業収益	\$ 29,899	\$ 47,007	
以下調整済み:			
サードパーティへの精油所売上	(3,229)	(97)	
Delta Private Jets に関する調整	—	(192)	
調整済み営業収益	\$ 26,670	\$ 46,718	(43)%

	3ヶ月間			2021年 第4四半期と2019年 第4四半期の 比較
	2021年10月1日~12月31日	2021年7月1日~9月30日	2019年10月1日~12月31日	
TRASM (セント)	18.30	16.93	17.47	
以下調整済み:				
サードパーティへの精油所売上	(2.01)	(1.61)	—	
Delta Private Jets に関する調整	—	—	(0.08)	
調整済み TRASM	16.29	15.31	17.39	(6)%

	1年間		増減
	2021年1月1日~12月31日	2019年1月1日~12月31日	
TRASM (セント)	15.37	17.07	
以下調整済み:			
サードパーティへの精油所売上	(1.66)	(0.04)	
Delta Private Jets に関する調整	—	(0.07)	
調整済み TRASM	13.71	16.97	(19)%

調整済み営業経費

(単位：百万ドル)	3ヶ月間		
	2021年10月1日～12月31日	2021年7月1日～9月30日	2019年10月1日～12月31日
営業経費	\$ 9,207	\$ 6,949	\$ 10,040
以下調整済み：			
再編費用	16	(33)	—
政府からの補助金計上	—	1,822	—
特別なプロフィットシェアリング	(108)	—	—
ヘッジのMTM調整および支払額	11	(19)	(22)
サードパーティへの精油所売上	(1,040)	(872)	(2)
Delta Private Jetsに関する調整	—	—	(55)
調整済み営業経費	\$ 8,086	\$ 7,846	\$ 9,961

(単位：百万ドル)	1年間	
	2021年1月1日～12月31日	2019年1月1日～12月31日
営業経費	\$ 28,013	\$ 40,389
以下調整済み：		
再編費用	19	—
政府からの補助金計上	4,512	—
特別なプロフィットシェアリング	(108)	—
ヘッジのMTM調整および支払額	(9)	(14)
サードパーティへの精油所売上	(3,229)	(97)
Delta Private Jetsに関する調整	—	(196)
調整済み営業経費	\$ 29,197	\$ 40,082

資本支出合計： 資本支出合計を特定するため、以下に記載した理由で以下の項目の資本支出を調整しています。

航空機取得のための資金調達： 資本支出としてリースで取得している航空機の納品を反映するために資本支出を調整しています。調整は当初の契約購入金額または評価額に基づいており、弊社の投資活動をよりわかりやすくします。

特定空港の建設プロジェクトに関連する正味キャッシュフロー： 特定空港の建設プロジェクトに関連するキャッシュフローが資本支出に含まれています。これら空港建設プロジェクトの資本支出の一部は当該プロジェクトに限定された現金、またはサードパーティによる補填分でまかなっていることを投資家の皆様にお伝えすべきだと経営陣が判断したため、こうした項目を調整しています。

(単位：百万ドル)	3ヶ月間	
	2021年10月1日～12月31日	2019年10月1日～12月31日
前払い金を含む航空機材	\$ 635	\$ 570
不動産および技術を含む装置	582	502
以下調整済み：		
特定空港の建設プロジェクトに関連する正味キャッシュフロー	(269)	(118)
資本支出合計	\$ 948	\$ 954

(単位：百万ドル)	1年間	
	2021年1月1日～12月31日	2019年1月1日～12月31日
前払い金を含む航空機材	\$ 1,596	\$ 3,344
不動産および技術を含む装置	1,651	1,592
以下調整済み：		
航空機取得のための資金調達	594	818
特定空港の建設プロジェクトに関連する正味キャッシュフロー	(965)	(448)
資本支出合計	\$ 2,876	\$ 5,306

調整済み負債総額：デルタ航空では金融債務の予測値を提示するために、調整済み負債やファイナンスリースに加え、航空機のレンタル料を含む、調整済み負債総額を採用しています。デルタ航空は調整済み負債合計総額から現金、現金相当物および短期投資、LGA 制限付き現金を減額しています。その結果、調整済み負債総額は、負債負担に必要な資本額を示すこととなります。経営陣は同指標により、投資家の皆様が弊社の全体的な負債状況を評価するのに役立つと考えています。

(単位：百万ドル)	2021年12月31日	
負債とファイナンスリースの債務	\$	26,920
および：売上-リースバック融資負債		2,234
および：未償却割引／（プレミアム）および債権発行費用、正味、その他		208
調整済み負債とファイナンスリースの債務	\$	29,362
および：7x 型の12ヶ月間の航空機レンタル料		3,011
調整済み負債総額	\$	32,374
現金、現金相当物、短期投資を除外		(11,320)
LGA 制限付き現金		(473)
調整済み純負債	\$	20,581

(単位：百万ドル)	2019年12月31日	
負債とファイナンスリースの債務	\$	11,160
および：未償却割引／（プレミアム）および債権発行費用、正味、その他		(115)
調整済み負債とファイナンスリースの債務	\$	11,044
および：7x 型の12ヶ月間の航空機レンタル料		2,963
調整済み負債総額	\$	14,007
現金、現金相当物、短期投資を除外		(2,882)
LGA 制限付き現金		(636)
調整済み純負債	\$	10,489

燃料以外の費用と燃料以外の単位費用または有効座席マイル当たりの費用 ("CASM-Ex")

	3ヶ月間				2021年 第4四半期と2019年 第4四半期の 比較
	2021年 10月 1日~12月 31日	2021年 7月 1日~9月 30日	2019年 10月 1日~12月 31日	2019年 1月 1日~3月 31日	
CASM (単位: セント)	17.79	12.85	15.34	15.14	
以下調整済み:					
再編費用	0.03	(0.06)	—	—	
政府からの補助金計上	—	3.37	—	—	
航空機用燃料と関連税	(3.05)	(2.87)	(3.08)	(3.17)	
サードパーティへの精油所売上	(2.01)	(1.61)	—	(0.08)	
特別なプロフィットシェアリング	(0.21)	—	—	—	
プロフィットシェアリング	—	—	(0.59)	(0.35)	
Delta Private Jets に関する調整	—	—	(0.07)	(0.05)	
CASM-Ex	12.56	11.67	11.59	11.49	8 %

	1年間		2021年 第4四半期と2019年 第4四半期の 比較
	2021年 1月 1日~12月 31日	2019年 1月 1日~12月 31日	
CASM (単位: セント)	14.40	14.67	
以下調整済み:			
再編費用	0.01	—	
政府からの補助金計上	2.32	—	
航空機用燃料と関連税	(2.90)	(3.10)	
サードパーティへの精油所売上	(1.66)	(0.04)	
特別なプロフィットシェアリング	(0.06)	—	
プロフィットシェアリング	—	(0.60)	
Delta Private Jets に関する調整	—	(0.06)	
CASM-Ex	12.12	10.88	11 %

(単位: 百万ドル)	3ヶ月間			2021年 第4四半期と2019年 第4四半期の 比較
	2021年 10月 1日~12月 31日	2021年 7月 1日~9月 30日	2019年 10月 1日~12月 31日	
営業経費	\$ 9,207	\$ 6,949	\$ 10,040	
以下調整済み:				
再編費用	16	(33)	—	
政府からの補助金計上	—	1,822	—	
航空機用燃料と関連税	(1,577)	(1,552)	(2,012)	
サードパーティへの精油所売上	(1,040)	(872)	(2)	
特別なプロフィットシェアリング	(108)	—	—	
プロフィットシェアリング	—	—	(387)	
Delta Private Jets に関する調整	—	—	(49)	
燃料以外の費用	\$ 6,498	\$ 6,313	\$ 7,590	(14)%

(単位: 百万ドル)	1年間		2021年 第4四半期と2019年 第4四半期の 比較
	2021年 1月 1日~12月 31日	2019年 1月 1日~12月 31日	
営業経費	\$ 28,013	\$ 40,389	
以下調整済み:			
再編費用	19	—	
政府からの補助金計上	4,512	—	
航空機用燃料と関連税	(5,633)	(8,519)	
サードパーティへの精油所売上	(3,229)	(97)	
特別なプロフィットシェアリング	(108)	—	
プロフィットシェアリング	—	(1,643)	
Delta Private Jets に関する調整	—	(168)	
燃料以外の費用	\$ 23,573	\$ 29,962	(21)%

1 ガロン当たりの調整済み平均燃料価格

(ガロン当たりのデータを除き単位は百万ドル)	3ヶ月間			1 ガロン当たりの平均燃料価格		
	3ヶ月間			3ヶ月間		
	10月1日~12月31日	7月1日~9月30日	10月1日~12月31日	10月1日~12月31日	7月1日~9月30日	10月1日~12月31日
	2021年	2021年	2019年	2021年	2021年	2019年
燃料費合計	\$ 1,577	\$ 1,552	\$ 2,012	\$ 2.09	\$ 1.97	\$ 2.01
以下調整済み:						
ヘッジのMTM 調整および支払額	11	(19)	(23)	0.01	(0.02)	(0.02)
Delta Private Jetsに関する調整	—	—	(6)	—	—	(0.01)
調整済み燃料費合計	\$ 1,588	\$ 1,533	\$ 1,983	\$ 2.10	\$ 1.94	\$ 1.99

(ガロン当たりのデータを除き単位は百万ドル)	1年間	
	1年間	
	1月1日~12月31日	1月1日~12月31日
	2021年	2019年
燃料費合計	\$ 5,633	\$ 8,519
以下調整済み:		
ヘッジのMTM 調整および支払額	(9)	(14)
Delta Private Jetsに関する調整	—	(28)
調整済み燃料費合計	\$ 5,625	\$ 8,477

1 ガロン当たりの平均燃料価格	1年間	
	1年間	
	1月1日~12月31日	11月1日~12月31日
	2021年	2019年
	\$ 2.02	\$ 2.02
	—	—
	—	(0.01)
	\$ 2.02	\$ 2.01

2021年通年と2019年通年の燃料費割合の変化: (34)%

調整済み営業外経費

(単位: 百万ドル)	3ヶ月間	
	2021年 10月1日~12月31日	2019年 10月1日~12月31日
営業外経費	\$ 658	\$ 2
以下調整済み:		
減損処理および持分法損失	(232)	—
負債償還による損失	(54)	—
株式投資 MTM 調整	—	1
投資のMTM 調整	(197)	3
調整済み営業外経費	\$ 175	\$ 6

(単位: 百万ドル)	1年間	
	2021年 1月1日~12月31日	2019年 1月1日~12月31日
営業外経費	\$ 1,488	\$ 420
以下調整済み:		
減損処理および持分法損失	(337)	—
負債償還による損失	(319)	—
株式投資 MTM 調整	—	14
投資のMTM 調整	56	(13)
調整済み営業外経費	\$ 888	\$ 422

フリーキャッシュフロー：デルタ航空ではフリーキャッシュフローを提示していますが、これは経営陣が、同指標によって、投資家の皆様が債務返済や全般的な企業活動に利用できる弊社の現金創出能力を評価しやすくなると考えているためです。フリーキャッシュフローとは営業活動と投資活動による正味現金に対して、(i) 短期投資の償還、正味、(ii) 戦略的投資およびその関連、(iii) 特定の空港建設プロジェクトおよびその他に関連する正味キャッシュフローについての調整を行ったものです。この種の調整は以下の理由で行っています。

短期投資の償還/購入、正味：短期投資の償還/購入、正味は、収益と損失を含む当期間中の投資および有価証券の正味購入・売却金額を表します。これに伴う調整により、投資家の皆様が営業活動で得たフリーキャッシュフローの状況をより良く理解できると考えたからです。

戦略的投資および関連費用：他の航空会社への投資および関連する取引に関する特定のキャッシュフローは GAAP では投資活動に含まれています。この活動については調整を行うことで、航空業界他社との有意義な比較が行えます。

特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー：特定空港の建設プロジェクトに関連するキャッシュフローを、GAAPの運転支出および資本支出に含んでいます。デルタ航空ではこれらの項目について調整していますが、これは経営陣が、空港建設プロジェクトによる資本支出の一部がサードパーティから補填されている、またはプロジェクトに限定された現金によってまかなわれていることを投資家の皆様にお伝えするべきだと判断したためです。

(単位：百万ドル)	3ヶ月間	
	2021年10月1日～12月31日	2019年10月1日～12月31日
営業活動によるキャッシュフロー、正味	\$ 555	\$ 969
投資活動に使用したキャッシュフロー、正味	(479)	(779)
以下調整済み：		
短期投資の（償還）/購入、正味	(1,022)	—
戦略的投資および関連費用	274	—
特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー	231	(49)
フリーキャッシュフロー	\$ (441)	\$ 141

(単位：百万ドル)	1年間	
	2021年1月1日～12月31日	2019年1月1日～12月31日
営業活動によるキャッシュフロー、正味	\$ 3,264	\$ 8,425
投資活動に使用したキャッシュフロー、正味	(898)	(4,563)
以下調整済み：		
短期投資の（償還）/購入、正味	(2,381)	(206)
戦略的投資および関連費用	181	170
特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー	1,090	338
フリーキャッシュフロー	\$ 1,255	\$ 4,164